

第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

市町村名 雨竜町

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

第8期介護保険事業計画に記載の内容				R3年度(年度末実績)		
区分	現状と課題	第8期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
①自立支援・介護予防・重度化防止	健康寿命を延ばすためにも認知機能維持は大切である。認知機能低下のおそれのある者を早期発見し、介護予防事業や住民主体の通いの場などを活用して、認知機能維持に努め、自立した生活を送れるよう支援する必要がある	機器(物忘れプログラム)を活用して認知低下機能のおそれのある者を早期に発見し、介護予防事業や住民主体の通いの場につなげて、自立した生活を送ることができるよう支援する	機器利用判定者 年20人程度	コロナの影響で取り組みが実施できなかった。	×	機器(物忘れプログラム)の周知、実施方法を検討していく。
①自立支援・介護予防・重度化防止	健康寿命を延ばすためにも身体機能の維持向上は大切である。リハビリ専門職の協力を得て、高齢者が介護予防に努め、自立した生活を送れるよう支援する必要がある	介護予防事業や住民主体の通いの場開催時にリハビリ専門職による助言・指導を実施する	各年2回	「さわやか健康クラブ」 8月実施 参加数7人 内容:理学療法士によるフレイル予防の講話、体操 10月実施 参加数10人 内容:理学療法士による下肢浮腫軽減の予防法、対処法の助言、体操 「おいでサロン」 コロナの影響でサロンが中止となり、高齢者共同住宅「シルバーハウス」に入居している自立した高齢者に理学療法士による講話、体操を実施(11月、1月)。参加者10人/回。	◎	参加人数の減少が課題。会場の広さなどの問題で大勢集まることも難しい状況であった。コロナの感染状況等を踏まえ、関係者間で協議を行い、感染拡大防止策を行いながら実施していく。
①自立支援・介護予防・重度化防止	高齢者がこれからの生活全般について自分自身でどう暮らしたいのかを考える機会づくり・ポピュレーションアプローチの場を作り、住民へ直接伝える機会が必要である	生活支援コーディネーター等と連携し、住民への普及啓発講座「これからの生活・暮らしを考える講座」を開催する	年3回	コロナの影響で8月、2月の講座は中止 10月「知っておこう身近な認知症のこと」参加数85人 講師:内海Dr	△	生活支援コーディネーターと協議を重ね、開催時期や内容を検討していく。
①自立支援・介護予防・重度化防止	高齢化が進み、独居高齢者や高齢者世帯が増えており、生活、健康、介護などの相談が増えており、支援が必要な方が増えている。困難ケースも増えており、対象に合った支援を検討するには関係機関との情報共有は必要である	保健、医療、福祉等の関係者との定期的な地域ケア会議において、個別ケース会議を開催し支援について話し合う	月1回開催	月1回地域ケア会議を実施(書面会議:5月、2月)、個別ケース会議は4件開催。関係機関と連携し、支援について検討した。	◎	課題なく実施できた。今後も継続。
①自立支援・介護予防・重度化防止	認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らせるよう、地域において認知症の方やその家族を支援していくことが大切になる。そのためにはサポーターを増やし、安心して暮らせる地域づくりが必要である。	認知症サポーター養成講座を開催する	年1回以上	周知したが希望対象者・団体がなかったため未実施	×	コロナの影響で周知が十分ではなかった。周知方法や実施方法の見直しをしていく。

第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

市町村名 空知中部広域連合

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

第8期介護保険事業計画に記載の内容				R3年度(年度末実績)		
区分	現状と課題	第8期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
②給付適正化	介護給付を必要とする受給者を適切に認定し、受給者が真に必要とするサービスを、事業者が適切に提供できるようにするため、北海道では「第5期介護給付適正化計画」を策定し、保険者と一体となって取り組む方針としており、当連合としても重点事項として位置付けられている5項目について実施していく。	認定調査状況の適正化	調査票全件点検の実施	調査票全件である1,343件の点検を実施し、テキストに基づき、不整合がないか確認し、整合性のある認定調査となるよう認定調査員への指導を行った。	◎	調査事項と特記事項の整合性が図られていない調査票が見受けられることから、今後も認定調査の平準化をはかるため、調査員に対する指導を継続していく。
②給付適正化		ケアプランの点検	隔年訪問実施	5事業所計15件について、自立支援に資する適切なケアプランであるか等に着目し、ケアプラン点検を行った。	◎	利用者の自立支援に資する適切なプランであるか等に着目し実施しており、今後も継続していく。
②給付適正化		住宅改修及び福祉用具購入の点検	申請書類の全件点検、必要に応じた現地確認の実施	住宅改修及び福祉用具購入の申請時に全件点検を行い、住宅改修については事後訪問調査を行った。	◎	不適合な改修の申請の場合は、申請者やケアマネージャーに制度を説明し理解を図っており、今後も継続していく。
②給付適正化		医療情報との突合及び縦覧点検	毎月点検実施	国保連合会に委託し、帳票をもとに点検実施した。	◎	国保連合会への委託と国保連合会帳票を使用した点検を実施しており、今後も継続していく。
②給付適正化		介護給付費通知	年1回以上の通知の実施	年1回(8月)に全件通知を行った。	◎	計画通り実施しており、今後も継続していく。